

ニッペ DANフレッシュ シリーズ

生まれたての
住まいの装い。

防水
効果

耐久性

弾性

水性

低臭

防藻
防かび

低汚染

透湿

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

特長

低汚染タイプの単層弾性塗料です。

- すぐれた防藻・防かび性を発揮します。
- ひび割れに追従し、中性化防止に役立ちます。
- すぐれた透湿効果で壁体内結露から建物をまもります。
- 塗装作業性にすぐれています。
- 環境にやさしい一液水性塗料です。

防藻・防かび

藻、かびの繁殖を抑制します。

防水効果



すぐれた防水効果で、雨水をシャットアウトします。これにより、コンクリートなどの中性化防止・塩害防止にも効果があります。

耐久性



※パーフェクトフィラーとの組合せ（厚膜塗膜）により、すぐれた耐久性を実現します。

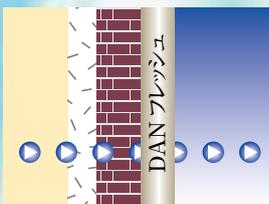
※裏面の標準塗装仕様を参照ください。

低汚染性

塗膜表面のちみつ性を高め、さらに親水化することで、すぐれた低汚染性を発揮します。

※親水性・塗膜表面を水になじみやすくすることで汚染物質を洗い流します。

透湿性



透湿性が高いため結露から建物をまもりまます。

水性・低臭



水性塗料なので地球にやさしく、臭いも少なくご近所にもご迷惑をかけずに作業をすすめられます。

弾性※

建物のひび割れに追従して、それをカバーします。これによりひび割れへの雨水の浸入を防ぎます。

※弾性塗料は、塗膜が伸びることによりクラック追従性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造（特殊な力）などにより、本来のクラック追従性を発揮できない場合があります。

商品構成

	塗料名	容量	色相	つや
●下塗り	ニッペウルトラシーラーⅢ	15kg	透明・ホワイト	—
	ニッペ水性カチオンシーラー透明	15kg	乳白色	—
	ニッペ水性カチオンシーラーホワイト	15kg	白色	—
	ニッペパーフェクトフィラー	15kg	白色	—
●上塗り	ニッペDANフレッシュR	16kg	各色	つやあり
	ニッペDANフレッシュS	16kg	各色	つや有り

適用下地

- コンクリート面（現場打ち）
- モルタル仕上げ面
- 塗り替え改修用（アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜）

標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 ニッペ水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ ウールローラー
中塗り	ニッペ DANフレッシュR	1	0.80~1.00	3時間以上	水道水	0~2	砂骨ローラー
上塗り	ニッペ DANフレッシュR	1	0.30~0.50	—	水道水	5~10	ウールローラー

なみがた模様 (DANフレッシュR)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 ニッペ水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ ウールローラー
中塗り	ニッペ DANフレッシュS	1	0.80~1.00	3時間以上	水道水	5~10	タイルガン
上塗り	ニッペ DANフレッシュS	1	0.60~0.80	—	水道水	4~8	タイルガン

ゆず肌模様 (DANフレッシュS)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 ニッペ水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ ウールローラー
中塗り	ニッペ DANフレッシュS	1	0.80~1.00	3時間以上	水道水	5~10	タイルガン
上塗り	ニッペ DANフレッシュS	1	0.60~0.80	—	水道水	4~8	タイルガン

凹凸・ヘッド押さえ模様 (DANフレッシュS)

凹凸模様	下塗り	ニッペ水性カチオンシーラー透明 ニッペ水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ ウールローラー
	中塗り (ペース吹き)	ニッペ DANフレッシュS	1	0.80~1.00	3時間以上	水道水	5~10	タイルガン
	上塗り (模様吹き)	ニッペ DANフレッシュS	1	0.60~0.80	—	水道水	0~5	タイルガン
ヘッド押さえ		プラスチックの押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけて、模様吹き工程直後から30分の間に凸部を押さえる。						

厚膜なみがた模様 (DANフレッシュR)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下塗り	ニッペパーフェクトファイラー	1	0.50~0.90	4時間以上	水道水	1~5	砂骨ローラー
中塗り	ニッペ DANフレッシュR	1	0.80~1.00	3時間以上	水道水	0~2	砂骨ローラー
上塗り	ニッペ DANフレッシュR	1	0.30~0.50	—	水道水	5~10	ウールローラー

*ニッペパーフェクトファイラーをローラー施工する際に、高温時や風が強い場合などの乾燥が進まるような条件下では、希釈率を上限値の範囲内で調整することを推奨します。(作業性や仕上がりの向上を更に図ることができます。)

*セメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200、等)で下地調整を行った場合には、下塗りにニッペウルトラシーラーⅢを塗装してください。

●上記の数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(編み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

●カテゴリーに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

●下地改修工事=塗り替えで下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施してください。

●素地調整=塗装工程に入る前に、ほこり、よれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整してください。

●旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

●性能維持のために、必ず規定量の使用量を確保してください。

ニッペ DANフレッシュR 施工上の要点と注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。)

①蓄熱されやすい建材(軽集モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の膨れ、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。

②適用シーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーと、水性シリコン浸透シーラーの使用を避けてください。

③弾性塗料は塗膜がのびるのでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。

④塗膜の伸長性は中塗りの使用量によって異なりますので、中塗りに規定の使用量を塗装してください。

⑤塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。

⑥つや調整品では、塗り過ぎや補修でつやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。

⑦過剰希釈をすると本来のつやが発現しない場合がありますので、規定の希釈量をまもってください。

⑧つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。

⑨防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理を行ってから塗装してください。

⑩被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。

⑪著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。

⑫絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめします。

⑬塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の無い場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。

⑭色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。

⑮乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤で拭き、せっけん水で洗浄してください。

⑯乾燥条件によっては塗膜表面に結露を感じることがありますが、時間とともになくなります。

⑰反応硬化タイプの塗料のため、使用後はけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにローラーシンナーで洗浄してください。

⑱旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。

⑲既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。

⑳風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。

㉑塗り替え時のシーラーは、ウルトラシーラーⅢまたは水性カチオンシーラーをご使用ください。溶剤系シーラーの使用は、旧塗膜の種類によっては溶剤膨れが発生させることがあります。

㉒シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。

㉓丸面への洗浄に使用する薬剤が塗膜面に付着すると、変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には薬剤が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。

㉔素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科社製Hi500シリーズ)に調整してください。

㉕表面のほこり、埃、エポキシ樹脂、レイタンスなどは除去し、目道い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹

脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。

㉖ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)

㉗内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。

㉘素材にセメント成分などが使われている場合は、エポキシ樹脂の使用をおすすめいたします。

㉙新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。

㉚閉居後設置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。

㉛塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。

㉜屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。

㉝塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。

㉞飛散防止のため必ず養生を行ってください。

㉟シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありまので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ねの適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。

㊱窓木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。

㊲薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。

㊳上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に冴えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠れ不出来な場合がありますので、事前に試験施工塗り板などでご確認ください。

㊴色調には必ず当社専用の原色をお使いください。

㊵塗料が冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するよう箇所には使用しない場合は、ファインシリコンフレッシュリキラーを上塗りに塗装してください。リキラーのローラーおよび刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やシミが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。

㊶大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。

㊷ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。

㊸汚れ、きずなどに伴って補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。

㊹可塑性が多含まれる塩ビ珪藻板、塩ビ珪藻ネット、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装は避けしてください。

また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。

㊺塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、よくかき混ぜてから使用してください。

㊻開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷蔵で保存し、速やかに使い切ってください。

㊼塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

㊽製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペDANフレッシュR

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を手入手してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 口をすずいでください。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- 漏出物を回収してください。
- 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合を外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けてください。
- 眼の刺激が続く場合は: 医師の診断/手当てを受けてください。
- 錠剤して保管してください。
- 直射日光や水濡れは厳禁です。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にはばく露しないでください。
- 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- *上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
- ■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告



危険有害性情報

強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2015 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●「DANフレッシュ」登録第4142917号は、日本ペイント株式会社から権利者の登録商標です。

●このカタログは、再生紙を使用しています。

カタログNo.

NP-T005

KE150403T

2015年4月現在